

1

I am ～. You are ～.

◆指導ページ P.2～5◆

【主な学習内容】

◎主語がI, youのときのbe動詞(am/are)を使う文→主語の違いによるbe動詞の使い分けの学習

◎主語がI, youのときのbe動詞を使った否定文・疑問文の学習

学習内容	補足・留意事項など
<p>① I am ～. You are ～.</p> <p>☆「私は～です」→I am ～. 「あなたは～です」→You are ～. で表す。 I am a student. (私は学生です。) You are Ms. Green. (あなたはグリーン先生です。)</p> <p>💡文頭の単語は大文字で書き始める。 例外的に、「I」(私)や固有名詞(人や土地、国の名前)は常に頭文字が大文字である。</p> <p>🔑敬称の使い方 Mr…男性の姓・姓名の前につける。「～さん」, 「～氏」 Ms…女性の姓・姓名の前につける。「～さん」 Mrs…結婚している女性の姓・姓名の前につける。「～さん」, 「～夫人」 Miss…結婚していない女性の姓・姓名の前につける。「～さん」</p>	<p>●短縮形 2語を1語に縮めた形のこと。省略した文字のかわりに' (アポストロフィ) という符号を使う。</p> <p>• I am / You are の短縮形 I am = I'm You are = You're</p> <p>• 冠詞 a (an) の意味・用法 「1つの」という意味であるが、日本語には訳さないことが多い。 ①数えられる名詞につける。 母音で発音する文字で始まる語には、「an」をつけ、それ以外には「a」をつける。 例 a teacher an apple ②数えられない名詞や固有名詞にはつけない。</p>
<p>② I am ～. You are ～. の否定文</p> <p>☆I am ～. You are ～. の否定文→am・areのあとに「not」をおく。 「私は～ではありません」→I am not ～. 「あなたは～ではありません」→You are not ～. I am a student. (私は学生です。) I am not a student. (私は学生ではありません。) You are Ms. Green. (あなたはグリーン先生です。) You are not Ms. Green. (あなたはグリーン先生ではありません。)</p> <p>💡短縮形 I am not = I'm not 例 I'm not a student. You are not = You're not もしくは You aren't 例 You're not Ms. Green. You aren't Ms. Green.</p>	<p>●否定文 「～ではない」のように打ち消す文のこと。</p> <p>• I am not の短縮形 I'm not で表せるが、I amn't の形はない。</p>
<p>③ You are ～. の疑問文</p> <p>☆You are ～. の疑問文→areを主語の前におき、文の最後に「?」をつける。 「あなたは～ですか」→Are you ～? Are you a student? (あなたは学生ですか。)</p> <p>☆答え方→主語をIにして、Yes / Noで答える。 Yes, I am. (はい、そうです。) No, I am [I'm] not. (いいえ、ちがいます。)</p> <p>🔑I am ～. の疑問文 Am I ～? 「私は～ですか」となるが、確認を求めるときなどの言い方で、実際に使う場面は少ない。</p>	<p>●疑問文 「～ですか」とたずねる文のこと。疑問詞のない疑問文は文尾を上げ調子にする。</p> <p>• 省略しない答え方 Are you a student? — Yes, I am a student. — No, I am [I'm] not a student.</p>

2 This [That] is ～. Is this [that] ～?

◆指導ページ P.6～9◆

【主な学習内容】

◎代名詞 this[that]が主語のときの be 動詞の文。

◎否定文・疑問文

学習内容	補足・留意事項など
<p>① This[That] is ～.</p> <p>☆ものや人を指して言うとき</p> <p>①近くの場合→ This is ～. 「これは[こちらは]～です。」で表す。 ②遠くの場合→ That is ～. 「あれは[あちらは]～です。」で表す。 This is a pen. (これはペンです。) That is a box. (あれは箱です。)</p> <p>💡 This is ～. は「こちらは～さんです」と人を紹介するときにもよく使われる。</p> <p>② This[That] is ～. の否定文</p> <p>☆ This[That] is ～. の否定文→ is のあとに「not」をおく。 「これは[こちらは]～ではありません」→ This is not ～. 「あれは[あちらは]～ではありません」→ That is not ～.</p> <p>💡 is not は isn't と短縮することが多い。 This is my teacher. (こちらは私の先生です。) This isn't my teacher. (こちらは私の先生ではありません。) That isn't my teacher. (あちらは私の先生ではありません。)</p> <p>💡 This is not / That is not の短縮形 This is not ～ = This isn't ～ That is not ～ = That isn't ～ = That's not ～</p> <p>③ This[That] is ～. の疑問文</p> <p>☆ This[That] is ～. の疑問文 → Is を主語 (this [that]) の前におく。 「これは[あれは]～ですか」→ Is this [that] ～?</p> <p>This is a dog. (これはイヌです。) Is this a dog? (これはイヌですか。)</p> <p>☆答え方→ this [that] のかわりに it を使い、Yes / No で答える。 Yes, it is. (はい、そうです。) No, it is not [it isn't / it's not]. (いいえ、そうではありません。)</p> <p>💡 my + 名詞, your + 名詞 my 「私の」, your 「あなたの」の意味で、あとに名詞がくる。所有を表す。 例 my ball 「私のボール」 your notebook 「あなたのノート」</p> <p>💡 冠詞 a [an] はつけない。→ × 「my a ball」</p> <p>💡 too too は「～も(また)」の意味で、ふつう文末におく。 That's a doll, too. (あれも人形です。)</p> <p>💡 コンマは省略できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • This is には短縮形がないことに注意。That is は That's と短縮できる。 • 空欄の数と短縮形 空欄に適語を入れる問題では、空欄の数に注意する。空欄の数によって短縮形にするかしないかを判断する。 • a と an の使いわけ 名詞が母音で始まるときには an をつける。 a camera 「カメラ」 an egg 「卵」 • 固有名詞 人名や地名には、「a」や「an」はつけない。 This is America. (これはアメリカです。) That is Mary. (あちらはメアリーです。)

4

He [She] is ~. Who is ~?

◆指導ページ P.14 ~ 17◆

【主な学習内容】

◎He[She] is ~. の基本文・否定文・疑問文と応答

◎疑問詞 who を使った表現の応答

学習内容	補足・留意事項など
<p>① He[She] is ~. の文</p> <p>☆「彼[彼女]は～です」→ He[She] is ~.</p> <p>He is a doctor. (彼は医者です。)</p> <p>(1) he「彼は」、she「彼女は」に対して「～です」は is を使う。</p> <p>(2) 人名や人を表す名詞の単数形(Ken, my sister)などが主語のときも is を使う。</p> <p>Tom is a student. (トムは学生です。)</p> <p>🔑 3人称単数</p> <p>he, she, it など「自分と相手以外の人(1人)やもの(1つ)」のこと。</p> <p>例 he, Yumi, my sister</p> <p>主語が3人称単数のとき、「～です」は is を使う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 代名詞 he, she 男性を指す代名詞は he, 女性を指す代名詞は she, ものを指す代名詞は it である。 Tom(男性)→ he Nancy(女性)→ she my desk → it 1人称単数→ I「私」 2人称単数→ you「あなた」
<p>② He[She] is ~. の否定文</p> <p>☆ He[She] is ~. の否定文は, is のあとに not をおく。</p> <p>He is a doctor. He is not a doctor. = He isn't a doctor. (彼は医者ではありません。)</p> <p>💡 He[She] is not の短縮形は2通りある。He[She] isn't / He's[She's] not</p>	<ul style="list-style-type: none"> 職業を表す名詞 teacher「先生, 教師」 nurse「看護師」 doctor「医者」 post man「郵便局員」 student「学生」
<p>③ He[She] is ~. の疑問文</p> <p>☆ He[She] is ~. の疑問文は, is を主語の前におく。</p> <p>She is your sister. (彼女はあなたの姉[妹]です。)</p> <p>↙</p> <p>Is she your sister? (彼女はあなたの姉[妹]ですか。)</p> <p>— Yes, she is. (はい, そうです。)</p> <p>— No, she is not. (いいえ, ちがいます。)</p> <p>💡 短縮形 No, she is not. = No, she isn't. = No, she's not.</p> <p>(1) 疑問文の主語が男の人なら he, 女の人なら she で受けて答える。</p> <p>(2) Is he(she) ~? の読み方は, 文尾を上げ調子で読む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> be 動詞 「～です」という意味を表す語 am, are, is をまとめて be 動詞という。主語によってこれら3つを使い分ける。
<p>④ Who is ~? の文</p> <p>☆「～はだれですか」→ Who is ~?</p> <p>who は「だれ」の意味。</p> <p>He is Tom. (彼はトムです。)</p> <p>↙ 下線部がだれかを問う</p> <p>Who is he? (彼はだれですか。)</p> <p>— He is Tom. (彼はトムです。)</p> <p>💡 名前や間柄などを答える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> Who is ~? の文 ① Who is の短縮形は Who's ② Who is ~? の文尾は下げ調子で読む。

5

I play ~. Do you play ~?

◆指導ページ P.18 ~ 21 ◆

【主な学習内容】

- ◎主語がI, you のときの一般動詞を用いた肯定文の作り方
- ◎主語がI, you のときの一般動詞を用いた疑問文と答え方

学習内容	補足・留意事項など
<p>① I play ~. の文</p> <p>☆「私は～をします。」→ I play ~.</p> <p>I play tennis. ↓ 動詞 目的語 私は テニスを する。</p> <p>(1) I play ~. 「私は～をします」 You play ~. 「あなたは～をします」</p> <p>(2) 動詞 play のあとに「～を」にあたる語がくる。この語のことを目的語という。 🔑 一般動詞 play の用法</p> <p>① play + スポーツ 「(スポーツを)する」 例 play baseball 「野球をする」</p> <p>② play the + 楽器 「(楽器を)ひく」 例 play the guitar 「ギターをひく」</p> <p>🔑 他の一般動詞でも play と同じように文を作ることができる。 「私は～します」= 〈I + 動詞 ~.〉 I study English. (私は英語を勉強します。) 「あなたは～します」= 〈You + 動詞 ~.〉 You speak English. (あなたは英語を話します。)</p> <p>(3) be 動詞以外の動詞を一般動詞という。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • いろいろな一般動詞 cook 「料理する」 go 「行く」 help 「手伝う」 know 「知っている」 look 「見る」 meet 「会う」 read 「読む」 sit 「すわる」 speak 「話す」 study 「勉強する」 watch 「見る」 • 楽器を表す名詞 flute 「フルート」 guitar 「ギター」 piano 「ピアノ」 violin 「バイオリン」 • スポーツを表す名詞 baseball 「野球」 soccer 「サッカー」 tennis 「テニス」 volleyball 「バレーボール」
<p>② Do you play ~? の文</p> <p>☆「あなたは～しますか」→ Do you + 動詞 ~?</p> <p>(1) 「あなたは～しますか」は Do を主語の前におく。 〈肯定文〉 You like music. (あなたは音楽が好きです。) 〈疑問文〉 Do you like music? (あなたは音楽が好きですか。)</p> <p>(2) Do you ~? の疑問文には、Yes / No を使って次のように答える。 — Yes, I do. (はい, 好きです。) — No, I do not [don't]. (いいえ, 好きではありません。)</p> <p>🔑 Do you like music? に対する省略しない答え方 — Yes, I like music. — No, I do not [don't] like music.</p> <p>(3) Do you ~? の文は、文尾を上げ調子で読む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • do 疑問文や答えの文に使う語で、特に意味をもたない。 • do not の短縮形 do not = don't • 動詞 have 「持っている」, 「飼っている」の意味。 I have a cat. (私はネコを1匹飼っている。)

6

I don't ~. What do you ~?

◆指導ページ P.22 ~ 25◆

【主な学習内容】

◎主語がI, youのときの一般動詞の否定文(do not[don't])を用いた表現

◎What do you ~?, Do you ~ A or B?の応答表現

学習内容	補足・留意事項など
<p>① I don't ~. の文</p> <p>☆「私は～しません」→ I do not[don't] ~.</p> <p>〈肯定文〉 I like baseball. (私は野球が好きです。)</p> <p>〈否定文〉 I do not[don't] like baseball. (私は野球が好きではありません。)</p> <p>(1) 一般動詞の否定文 主語と動詞の間に do not[don't]をおく。 💡do notの短縮形は don't。</p> <p>(2) 主語が you「あなたは」のときには, You do not[don't] ~. の形で表す。</p> <p>② What do you ~? の文</p> <p>☆「あなたは何を～しますか。」→ What do you ~? で表す。</p> <p>Do you want a bike? (あなたは自転車がほしいですか。)</p> <p>What do you want? (あなたは何がほしいのですか。)</p> <p>(1) What を文頭に出し, 〈What do you ~?〉の形でたずねる。</p> <p>(2) What do you ~? の文の答え方 Yes / No を使わず, 〈I(主語)+動詞+目的語 ~〉の形で答える。 — I want a bike. (私は自転車がほしいです。)</p> <p>💡答えの文では, 聞かれている語を強く読む。</p> <p>(3) 一般動詞 do do には, 「(~を)する」という意味の一般動詞としての使い方がある。 What do you do after school? (あなたは放課後何をしますか。)</p> <p>💡do は疑問文を作る do, do は「(~を)する」の do。 — I play tennis. (私はテニスをします。)</p> <p>💡do のかわりに, 具体的な動詞を使って答える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 否定文の not の位置のちがいがい <ul style="list-style-type: none"> be 動詞の場合 be 動詞 + not 例 He is not a student. 一般動詞の場合 do not[don't] + 一般動詞 例 I don't play tennis. What ~? の文尾は下げ調子で読む。 after ~ 「～のあとに」 after school 「授業のあと = 放課後」 after breakfast 「朝食後」 after dinner 「夕食後」
<p>③ Do you ~ A or B? の文</p> <p>☆「あなたは A を～しますか, それとも B を～しますか」→ Do you ~ A or B?</p> <p>答え方は, A か B かを具体的に答える。</p> <p>Do you play tennis or soccer? (あなたはテニスをしますか, それともサッカーをしますか。)</p> <p>— I play tennis. (私はテニスをします。)</p>	

7

I have two books. some と any

◆指導ページ P.26 ~ 29 ◆

【主な学習内容】

- ◎名詞の複数形の作り方および some と any の使い分け
- ◎How many ~? の文の応答表現

学習内容	補足・留意事項など
<p>1 名詞の複数形</p> <p>☆数えられる名詞には複数形があり、名詞の複数形は単数の語尾に s, es をつける。</p> <p>(1) ふつうの語 : s をつける。 例 boy → boys</p> <p>(2) ch, s, sh, x で終わる語 : es をつける。 例 bus → buses</p> <p>(3) 〈子音字+y〉で終わる語 : y を i にかえて es をつける。 例 library → libraries</p> <p>(4) f, fe で終わる語 : f, fe を v にかえて es をつける。 例 leaf → leaves</p> <p>(5) 不規則変化の語 例 man → men, woman → women, child → children</p> <p>2 some と any</p> <p>☆ some 「いくつかの」は、疑問文・否定文では any にかえる。</p> <p>(1) some は肯定文の中で、〈some + 名詞の複数形〉の形で使う。 I have two books (私は2冊の本を持っています。) I have some books. (私は何冊かの本を持っています。) <small>名詞の複数形</small></p> <p>(2) any は疑問文で「いくつかの」、否定文で「1つも~ない」を表す。 〈疑問文〉 Do you have any brothers? (あなたには兄弟がいますか。) 〈肯定文〉 — Yes, I do. I have some brothers. (はい、います。私には兄弟がいます。) 〈否定文〉 — No, I do not [don't]. I don't have any brothers. <small>(いいえ、いません。私には1人も兄弟はいません。)</small></p> <p>⚡ no を用いて所有していないことを表す。 I don't have any brothers. = I have no brothers.</p> <p>(3) some, any は特に日本語に訳さないことが多い。</p> <p>3 How many ~?</p> <p>☆ 「いくつ~ですか。」 → How many + 名詞の複数形 ~?</p> <p>Do you have <u>two</u> oranges? (あなたは2個のオレンジを持っていますか。) <small>物の個数をたずねる</small></p> <p>→ How many oranges do you have? (あなたはオレンジをいくつ持っていますか。) — I have two (oranges). (2つ(のオレンジを)持っています。) — Two.</p> <p>⚡① How many のあとの名詞は複数形にする。 ② 〈How many + 名詞の複数形〉のあとに do you ~? が続く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 注意すべき複数形 tomato → tomatoes piano → pianos roof → roofs • 単数形と複数形が同じ名詞 fish → fish sheep → sheep • 複数形の語尾 s, es の発音 <ul style="list-style-type: none"> ① 語尾が [f フ] [k ク] [p プ] [t ト] [θ ス] なら [s ス] 例 maps [mæps] ② 語尾が [s ス] [z ズ] [tj チ] [ʃ シュ] [dʒ ジ] なら [ɪz イズ] 例 buses [bʌsɪz] ③ ①②以外なら [z ズ] 例 pens [pens] • 疑問文中の some 人にものをすすめるときや、相手が Yes と答えるのを予想しているときは、疑問文でも some を使う。 Would you like some tea? (お茶はいかがですか。) ⚡ Would you like ~? <small>「~はいかがですか」</small> • many の意味 〈many + 名詞の複数形〉で「たくさんさんの~」の意味。 many pictures 「たくさんさんの絵」

8A

We [You, They] are ~.

◆指導ページ P.30 ~ 33◆

【主な学習内容】

- ◎複数の主語(we, you, they など)の be 動詞の文と一般動詞の文
◎A and B の代名詞のとり方と基本文・否定文・疑問文

学習内容	補足・留意事項など												
<p>① We [You, They] are ~. の文</p> <p>☆主語が複数であるとき、be 動詞は are を用いる。 I am a student. (私は学生です。) We are students. (私たちは学生です。) (複数形)</p> <p>🔑 人称代名詞</p> <table border="1" data-bbox="363 666 1207 836"> <thead> <tr> <th></th> <th>1 人称</th> <th>2 人称</th> <th>3 人称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単数</td> <td>I</td> <td>you</td> <td>he・she・it など</td> </tr> <tr> <td>複数</td> <td>we (私たちは)</td> <td>you (あなたたちは)</td> <td>they (彼らは・彼女らは・それらは)</td> </tr> </tbody> </table> <p>💡 you は単数も複数も同じ形のなので、あとに続く名詞が単数か複数かに注目する。</p>		1 人称	2 人称	3 人称	単数	I	you	he・she・it など	複数	we (私たちは)	you (あなたたちは)	they (彼らは・彼女らは・それらは)	<ul style="list-style-type: none"> 短縮形 We are = We're You are = You're They are = They're
	1 人称	2 人称	3 人称										
単数	I	you	he・she・it など										
複数	we (私たちは)	you (あなたたちは)	they (彼らは・彼女らは・それらは)										
<p>② We [You, They] are ~. の否定文・疑問文</p> <p>☆否定文は、are のあとに not を入れる。 ☆疑問文は、are を主語の前に出す。</p> <p>(1) 否定文 → We [You, They] are not [aren't] ~. (2) 疑問文 → Are you [they] ~?</p> <p>〈肯定文〉 We are students. (私たちは学生です。) 〈否定文〉 We are not [aren't] students. (私たちは学生ではありません。) 〈疑問文〉 Are you students? (あなたたちは学生ですか。) — Yes, we are. (はい、そうです。) — No, we are not [aren't]. (いいえ、ちがいます。) 💡 「あなたたちは~?」と聞かれているので、「私たちは~」we ~と答える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2通りの短縮形 we are not = we're not = we aren't you are not = you're not = you aren't they are not = they're not = they aren't 												
<p>③ A and B are ~. の文</p> <p>☆A and B が主語のとき、be 動詞は are を用いる。 Ken and Makoto are brothers. (健と誠は兄弟です。) = they (複数) 「健と誠」</p> <p>☆否定文・疑問文とも主語が we [you, they] のときと同じ形。</p> <p>〈否定文〉 Ken and Makoto are not [aren't] brothers. (健と誠は兄弟ではありません。) 〈疑問文〉 Are Ken and Makoto brothers? (健と誠は兄弟ですか。) — Yes, they are. (はい、そうです。) — No, they are not [aren't]. (いいえ、ちがいます。) 💡 「健と誠は~?」と聞かれているので、「彼らは~」they ~と答える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> A and B の代名詞 ・ you and I 「あなたと私」 → we 「私たち」 ・ you and Tom 「あなたとトム」 → you 「あなたたち」 ・ Tom and Jane 「トムとジェーン」 → they 「彼ら」 ・ Jane and I 「ジェーンと私」 → we 「私たち」 												
<p>④ We [You, They] + 一般動詞 ~. の文</p> <p>☆主語が複数のとき、一般動詞は I や you と同じ形。</p> <p>〈肯定文〉 They play tennis. (彼らはテニスをします。) 〈否定文〉 They do not [don't] play tennis. (彼らはテニスをしません。) 〈疑問文〉 Do they play tennis? (彼らはテニスをしますか。) — Yes, they do. (はい、します。) — No, they do not [don't]. (いいえ、しません。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> every 「~ごとに、毎~」の意味。あとに名詞の単数形がくる。 every morning 「毎朝」 every day 「毎日」 every week 「毎週」 every Sunday 「毎週日曜日」 												

8B

形容詞・副詞・冠詞

◆指導ページ P.34 ~ 37 ◆

【主な学習内容】

- ◎形容詞および副詞の用法の様々な具体例
- ◎冠詞(a[an], the)の使い分け

学習内容	補足・留意事項など
<p>1 形容詞</p> <p>☆形容詞はものの状態や性質・色・形などを表す語で、名詞を説明する。</p> <p>(1) 〈形容詞+名詞〉：名詞を修飾する。 a big house (大きな家)</p> <p>(2) 〈this[that]+名詞〉：「この[あの]〜」 this book (この本) 💡「この本」と指すとき、ある特定のものであるから、冠詞 a や an はつかない。</p> <p>(3) 〈主語+be 動詞+形容詞〉：主語を説明する。 <u>This</u> house is <u>big</u>. (この家は大きい。) ↑ ↑ house にかかる形容詞 this house を説明する形容詞 💡形容詞のあとに名詞がこないなので、形容詞 big の前に a や an はつかない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 形容詞の位置 冠詞 a[an], the のつく名詞を修飾する場合は、冠詞のすぐあとにおく。 a big apple 「大きなりんご」
<p>2 副詞</p> <p>☆副詞は動詞・形容詞・ほかの副詞を修飾する。</p> <p>(1) 動詞を修飾 You <u>play</u> the piano <u>well</u>. (あなたはピアノをじょうずにひきます。) (動詞) ↑</p> <p>(2) 形容詞を修飾 This book is <u>very</u> interesting. (この本はとてもおもしろい。) ↑ (形容詞)</p> <p>(3) ほかの副詞を修飾 You <u>work</u> <u>very</u> <u>hard</u>. (あなたはたいへん熱心に働きます。) (動詞) ↑ (副詞) ↑ (動詞を修飾する副詞のまとめ)</p> <p>(4) 頻度を表す副詞 頻度を表す副詞は一般動詞の前、be 動詞のあとにおく。 always(いつも), usually(たいてい), sometimes(ときどき)など。</p>	<ul style="list-style-type: none"> (楽器を)ひく 〈play the+楽器〉 play the piano 「ピアノをひく」 play the guitar 「ギターをひく」 very much very much は「たいへん、ひじょうに」の意味で、like や want といっしょに使う。 I like English very much. (私は英語がとても好きです。) too too には「～すぎる」という意味もある。 This box is <u>too</u> small. (この箱は小さすぎます。)
<p>3 冠詞</p> <p>☆冠詞には a[an] と the があり、名詞の前におく</p> <p>(1) a や an は初めて話題にする語につけ、「1つの[1人の]」という意味を表す。ただし、日本語には訳さないことが多い。 💡・数えられる名詞につける。 ・数えられない名詞や固有名詞にはつけない。 ・母音で始まる単語には、「an」をつけ、それ以外には「a」をつける。 a student, a small bag 「小さなかばん」 an egg, an old bag 「古いかばん」</p> <p>(2) the はすでに話題になった語につけ、「その」という意味を表す。 I have <u>a</u> dictionary. (私は辞書を持っています。) I use <u>the</u> dictionary every day. (私はその辞書を毎日使います。)</p> <p>💡the の用法</p> <ol style="list-style-type: none"> すでに話題になったものや何を指すかわかっているもの 天体など、世の中に1つしかないもの the earth (地球) 順序を表す語 the first book (最初の本) 決まった表現 in the morning (午前中) 修飾語句で限定された名詞 the name of this dog (このイヌの名前) 	<ul style="list-style-type: none"> 否定文中の very 否定文の very は「あまり(～ない)」という意味を表す。「とても～ない」の意味ではない。 I <u>don't</u> like fish <u>very</u> much. (私は魚があまり好きではありません。)